

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO iDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2016年第33週
(8月15日～8月21日)

* 2016年8月24日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成28(2016)年8月25日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2016年33週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		30週	31週	32週	33週	年累計	33週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	84	55	52	53	2,314	345	15,081
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
鳥インフルエンザ(H7N9) ^{*3}								
三類	コレラ							3
	細菌性赤痢		2	3	3	30	5	88
	腸管出血性大腸菌感染症	15	11	19	16	232	238	1,880
	腸チフス		1			15	1	31
	パラチフス					5	1	10
四類	E型肝炎				2	30	6	272
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		3	1		53		204
	エキノコックス症							13
	黄熱							
	オウム病					1		4
	オムスク出血熱							
	回帰熱							5
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					2		2
	サル痘							
	ジカウイルス感染症 ^{*4}							7
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*5}							38
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							1
	炭疽							
	チクングニア熱					3		6
つつが虫病							89	
デング熱	3			1	52	9	209	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

*3 2013年より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

*4 2016年2月15日より新たに追加指定された。

*5 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		30週	31週	32週	33週	年累計	33週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						7	118
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症		1			1		1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症					1		3
	マラリア	3			1	12	1	32
	野兔病							
	ライム病							5
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
レジオネラ症	7	2	3	3	75	21	874	
レプトスピラ症		1			1	3	12	
ロッキー山紅斑熱								
2016/8/24集計								

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 53件 患者および死亡後診断 38件(肺結核 28件、その他の結核 7件、肺結核及びその他の結核 3件)、無症状病原体保有者 15件、年齢は5歳未満 1件、10代 1件、20代 2件、30代 7件、40代 1件、50代 5件、60代 8件、70代 6件、80代 20件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 52件、ネパール 1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 3件 患者 3件、菌種はソネネ 3件、年齢は10代 1件、30代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 1件、ベトナム 1件、モロッコ 1件、推定感染経路は経口感染 3件であった。

腸管出血性大腸菌感染症 16件 患者 12件、無症状病原体保有者 4件、血清型・毒素型はO111 VT1 1件、O157 VT1・VT2 7件、O157 VT2 8件、年齢は10歳未満 1件、10代 2件、20代 4件、30代 3件、40代 2件、50代 2件、60代 2件、推定感染地は国内 16件、推定感染経路は経口感染 9件、接触感染 2件、不明 5件であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 2件 患者 2件、年齢は30代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は経口感染 2件であった。

デング熱 1件 患者、病型はデング熱、血清型不明、年齢は20代、推定感染地はフィリピンであった。

マラリア 1件 患者、病型は熱帯熱、年齢は10歳未満、推定感染地はナイジェリアであった。

レジオネラ症 3件 病型は肺炎型 3件、年齢は60代 1件、70代 2件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は水系感染 1件、不明 2件であった。

※ 第32週該当分として〔三類〕腸管出血性大腸菌感染症 1件の追加報告があった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2016年33週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		30週	31週	32週	33週	年累計	33週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	3	4		8	146	22	734
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	2	3	2		44	2	165
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	6	4	8	119	20	886
	急性脳炎*1	3	1	2	1	70	7	544
	クリプトスポリジウム症							6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1				11	3	114
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2		1	43	8	334
	後天性免疫不全症候群	10	13	9	11	305	18	897
	ジアルジア症	1	1	1		12	1	42
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	1	2	1	34	1	213
	侵襲性髄膜炎菌感染症					3		28
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	6	3	5	243	26	1,795
	水痘(入院例に限る)	1	1		1	35	4	189
	先天性風しん症候群							
	梅毒	41	41	33	38	1,079	47	2,674
	播種性クリプトコックス症					10	2	80
	破傷風					3	1	73
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						2	32
	風しん					12		92
麻しん				1	6	13	32	
薬剤耐性アシネトバクター感染症					1		23	

2016/8/24集計

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 8件 病型は腸管 8件、年齢は20代 1件、30代 1件、40代 3件、50代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 6件、国外(渡航先不明) 1件、国内又は国外(渡航先不明) 1件、推定感染経路は性的接触 4件(同性間 1件、異性間 3件)、経口感染 2件、不明 2件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 8件 患者 8件、病原菌はエンテロバクター・アエロゲネス 1件、エンテロバクター・クロアカ 5件、セラチア・マルセッセンス 1件、大腸菌 1件、年齢は50代 1件、60代 3件、70代 1件、80代 3件、推定感染地は国内 8件、推定感染経路は以前からの保菌 3件、医療器具関連感染(中心静脈カテーテル) 2件、不明 3件、90日以内の海外渡航歴は無し8件であった。

急性脳炎 1件 病原体不明、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 血清群はA群、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

後天性免疫不全症候群 11件 AIDS 2件、無症候キャリア 8件、その他 1件、AIDS患者の年齢は20代 1件、40代 1件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 2件、30代 4件、40代 3件、推定感染地は国内 10件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 11件(同性間 9件、両性間 1件、性別不明 1件)であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 血清型は検査未実施、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、ヒブワクチン接種歴は不明であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 5件 血清型は検査未実施 5件、年齢は20代 1件、70代 2件、80代 2件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は不明 5件、肺炎球菌ワクチン接種歴は無し 1件、不明 4件であった。80代の2件は死亡が確認された。

水痘(入院例) 1件 臨床診断例、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、水痘ワクチン接種歴は無しであった。

梅毒 38件 患者31件(早期顕症梅毒Ⅰ期 14件、早期顕症梅毒Ⅱ期 14件、晩期顕症梅毒 3件)、無症候梅毒 7件、年齢は10代 2件、20代 10件、30代 9件、40代 11件、50代 5件、60代 1件、推定感染地は国内 36件、中国 1件、米国 1件、推定感染経路は性的接触 36件(同性間 13件、異性間 15件、性別不明 8件)、不明 2件であった。

麻しん 1件 検査診断例、年齢は40代、推定感染地はタイ、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、麻しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

※ 第32週該当分として〔五類〕侵襲性肺炎球菌感染症 1件、梅毒 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2016年33週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2016年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		30週	31週	32週	33週		
小児科	RSウイルス感染症	66	93	103	98	240	264
		0.25	0.36	0.42	0.41		
	咽頭結膜熱	141	78	83	53		
		0.54	0.30	0.34	0.22		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	512	428	247	210		
		1.97	1.65	1.01	0.88		
	感染性胃腸炎	1,197	1,142	802	712		
		4.60	4.41	3.29	2.97		
	水痘	84	86	69	64		
		0.32	0.33	0.28	0.27		
	手足口病	225	263	184	127		
		0.87	1.02	0.75	0.53		
	伝染性紅斑	39	48	35	22		
		0.15	0.19	0.14	0.09		
突発性発しん	134	145	91	99			
	0.52	0.56	0.37	0.41			
百日咳	6	7	1	1			
	0.02	0.03	0.00	0.00			
ヘルパンギーナ	1,599	1,358	838	359			
	6.15	5.24	3.43	1.50			
流行性耳下腺炎	260	236	171	190			
	1.00	0.91	0.70	0.79			
川崎病 *1	4	3	1				
	0.02	0.01	0.00				
不明発しん症 *1	25	29	24	14			
	0.10	0.11	0.10	0.06			
インフル エンザ	インフルエンザ *2	5	5	6	4	386	419
		0.01	0.01	0.02	0.01		
眼科	急性出血性結膜炎			1		36	39
				0.03			
		39	21	25	21		
		1.00	0.54	0.64	0.58		
基幹	細菌性髄膜炎 *3	2	2		1	25	25
		0.08	0.08		0.04		
	無菌性髄膜炎	1	2	5	3		
		0.04	0.08	0.20	0.12		
	マイコプラズマ肺炎	22	23	23	26		
		0.88	0.92	0.92	1.04		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	2			1			
	0.08			0.04			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス) *4							
インフルエンザ入院			1				
			0.04				

2016/8/24集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ ヘルパンギーナの定点当たり報告数は前週よりもさらに減少し、流行警報基準を下回った。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2016年33週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	21			13		2		4		6	
6～11か月	22	7	2	65		20	1	20		41	2
1歳	38	10	13	121	4	46	1	57		123	4
2歳	14	7	13	72	6	24	2	11		84	5
3歳	2	7	19	75	7	19	3	5		36	10
4歳	1	2	27	55	10	6	1	1		23	16
5歳		4	25	40	9	4	3			13	21
6歳		6	22	47	12	2	3			12	32
7歳		2	18	31	5		3			2	25
8歳		2	25	19	4		3		1	4	19
9歳		1	11	22	3	2		1		1	20
10～14歳		4	22	60	2	1	2			7	23
15～19歳			1	19	1					1	5
20～29歳		1	12	73	1	1				6	8
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	98	53	210	712	64	127	22	99	1	359	190
先週比	-5	-30	-37	-90	-5	-57	-13	8		-479	19

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月							1				
6～11か月		2									
1歳		8	1		1						
2歳					1						
3歳			1					1			
4歳		1	1		1			1			
5歳		2						2			
6歳								4			
7歳		1	1		1			2			
8歳								2			
9歳								3			
10～14歳								6			
15～19歳											
20～29歳					4			3			
30～39歳					6		2	1	1		
40～49歳					4	1		1			
50～59歳					2						
60～69歳					1						
70～79歳											
80歳以上											
合計		14	4		21	1	3	26	1		
先週比	-1	-10	-2	-1	-4	1	-2	3	1		-1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数 【保健所別】 2016年33週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田				0.33						0.33	
中央区	1.00		0.50	2.00		3.00				2.50	1.00
みなと	1.80	0.40	0.40	3.20	0.40	0.80		0.60		2.00	1.60
新宿区	1.25	0.38	0.75	2.50	0.38	0.25		0.13		1.38	
文京			0.75	1.50				0.25		1.00	0.50
台東		0.75	0.75	3.50		2.75		1.75		2.75	
墨田区	0.40	0.40	1.00	0.80	0.40	0.40		0.60		0.80	0.40
江東区	0.11		0.44	2.44			0.22	0.44		0.22	
品川区		0.88	0.25	2.50	0.25	0.25	0.13	0.63		1.25	0.38
目黒区	1.60		1.00	4.20		2.60	0.20	0.80		2.00	2.00
大田区	1.80	0.50	1.10	7.60	0.80	0.50	0.30	0.60	0.10	2.60	1.40
世田谷	1.07	0.14	1.43	1.50	0.14	0.36	0.21	0.64		1.57	0.71
渋谷区				2.50	0.25	0.75		0.75		0.75	0.50
中野区			1.17	7.17	0.67					1.50	0.17
杉並	0.29		0.29	2.00	0.71	0.43		0.29		0.57	
池袋				1.25							
北区			0.86	1.43		0.57		0.71		2.00	
荒川区	0.25		1.00	1.75		0.50				2.00	
板橋区			0.20	0.90	0.20	0.20		0.20		0.50	0.40
練馬区	0.23	0.54	2.00	2.85	0.31	0.38	0.08	0.54		1.38	0.31
足立	0.73	0.45	0.55	2.36	0.18	0.82	0.09	0.27		0.82	0.27
葛飾区			0.75	3.38	0.13	0.75	0.25	0.50		0.75	3.00
江戸川	0.30	0.60	1.10	3.50	0.50	0.90				1.50	1.10
八王子市	0.11	0.22	0.78	9.78	0.44	0.78	0.11	0.56		4.56	4.00
町田市			1.75	6.63	0.38	0.50	0.25	0.63		2.38	1.75
西多摩		0.13	0.25	2.13		0.13				1.25	0.75
南多摩	0.33		0.78	3.67	0.44	0.22	0.22	0.44		2.22	0.89
多摩立川	0.29	0.07	0.79	1.64	0.29	0.29	0.07	0.14		0.36	0.57
多摩府中	0.33	0.13	0.53	1.40	0.33	0.47		0.47		1.53	0.67
多摩小平	0.20	0.33	1.93	1.93	0.07	0.60	0.13	0.47		2.07	0.53
島しょ										3.00	
東京都	0.41	0.22	0.88	2.97	0.27	0.53	0.09	0.41	0.00	1.50	0.79

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田											
中央区		1.00									
みなと											
新宿区			0.17		1.00			2.50			
文京											
台東											
墨田区					1.00		2.00	1.00			
江東区		0.11									
品川区											
目黒区		0.20									
大田区					1.50						
世田谷							0.50				
渋谷区					1.00			2.00			
中野区			0.20		2.00						
杉並		0.14			1.00			1.50			
池袋											
北区											
荒川区					2.00						
板橋区		0.10			0.50						
練馬区											
足立					1.50						
葛飾区		0.25			1.00			2.00			
江戸川											
八王子市		0.11			1.00			3.00			
町田市		0.50									
西多摩					2.00			2.00			
南多摩											
多摩立川								1.00			
多摩府中		0.07						2.33	0.33		
多摩小平					0.50	0.50					
島しょ											

東京都		0.06	0.01		0.58	0.04	0.12	1.04	0.04		
-----	--	------	------	--	------	------	------	------	------	--	--

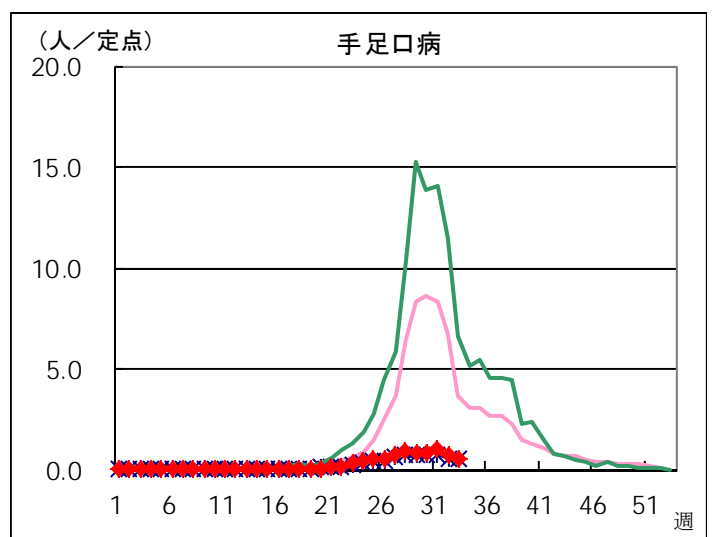
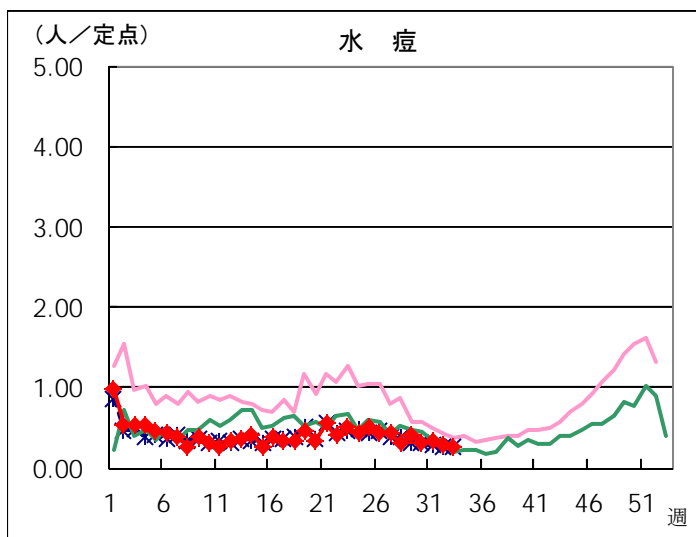
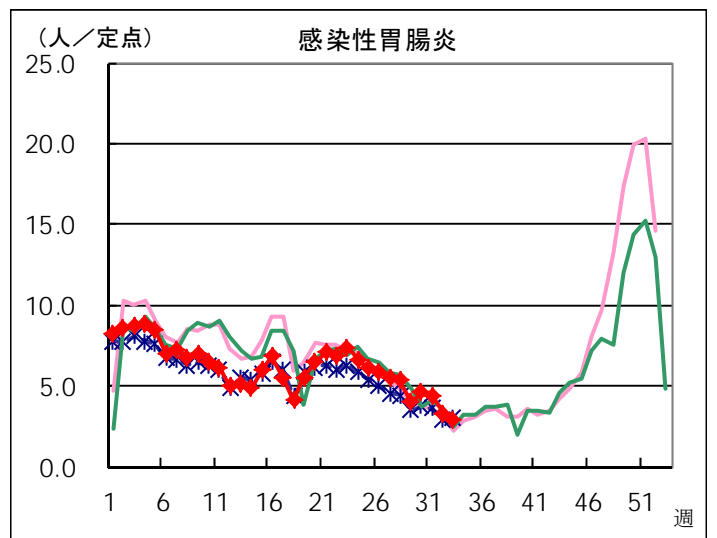
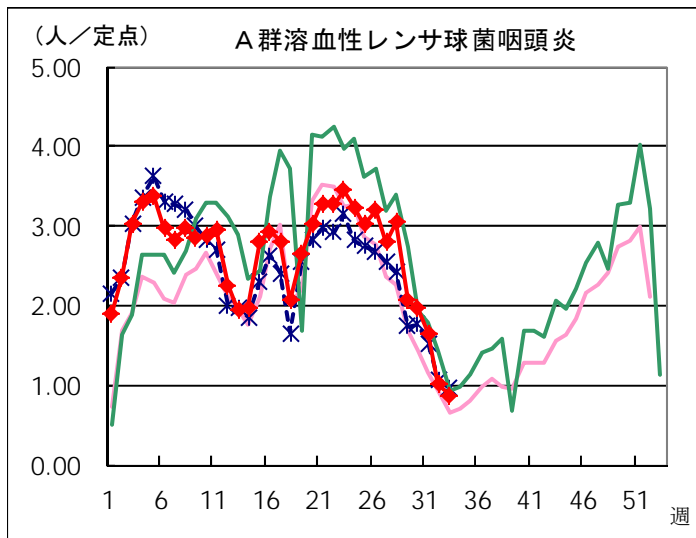
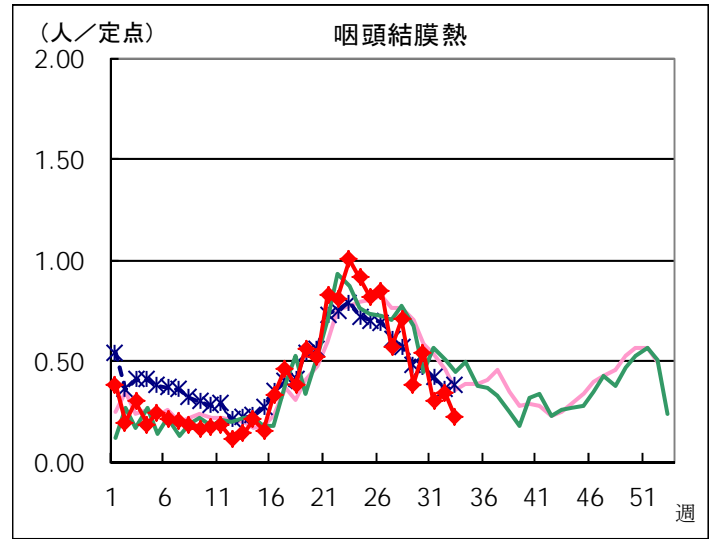
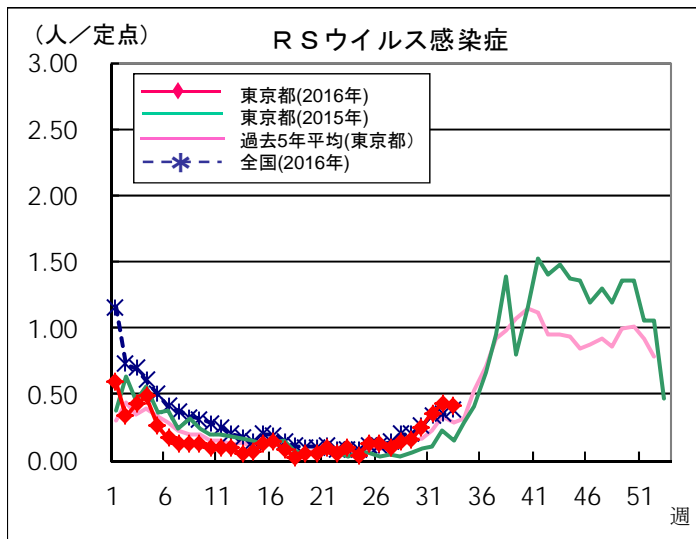
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2016年33週

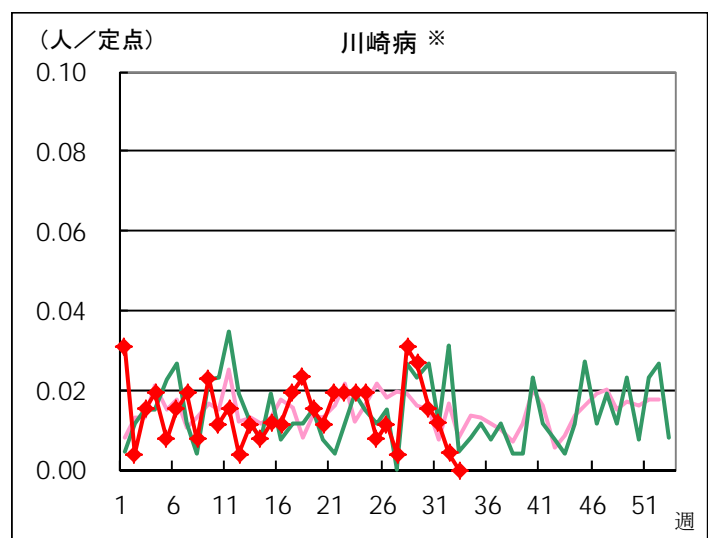
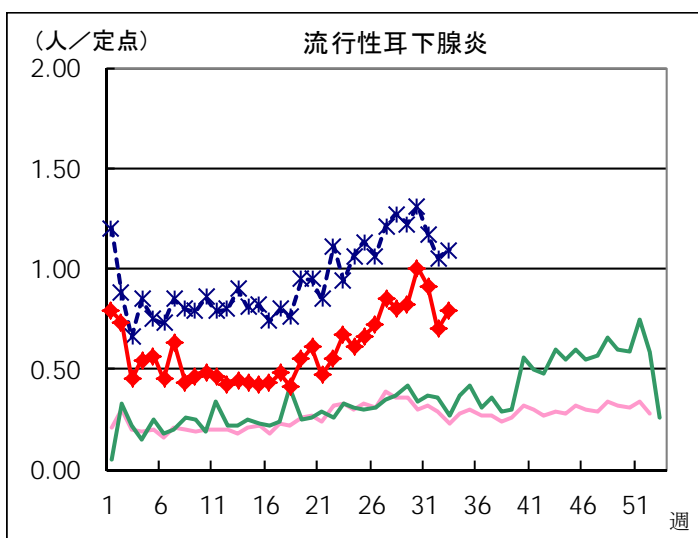
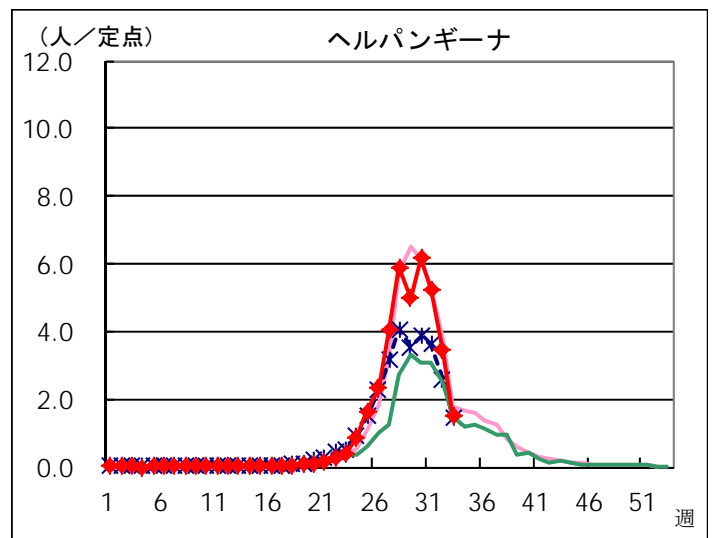
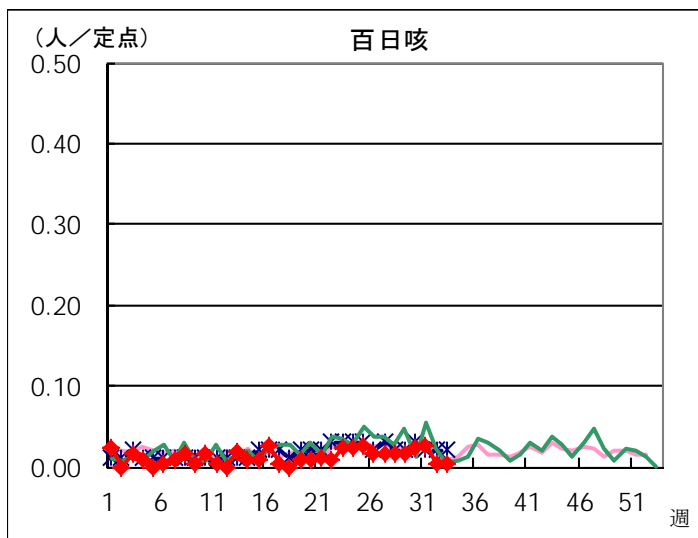
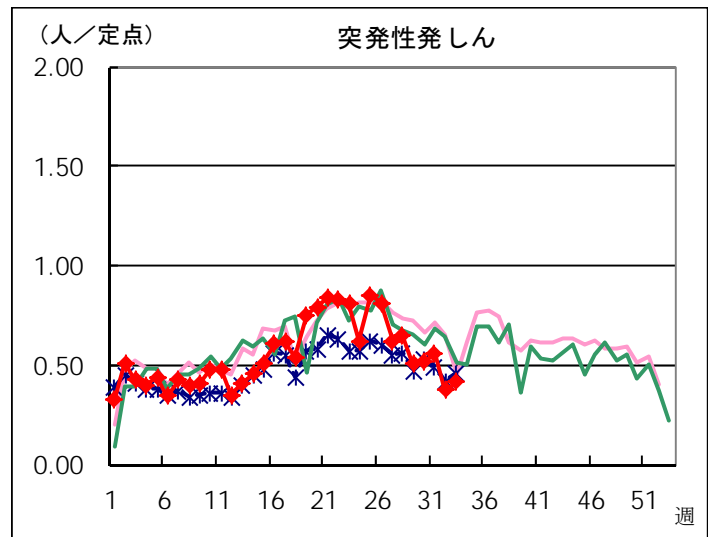
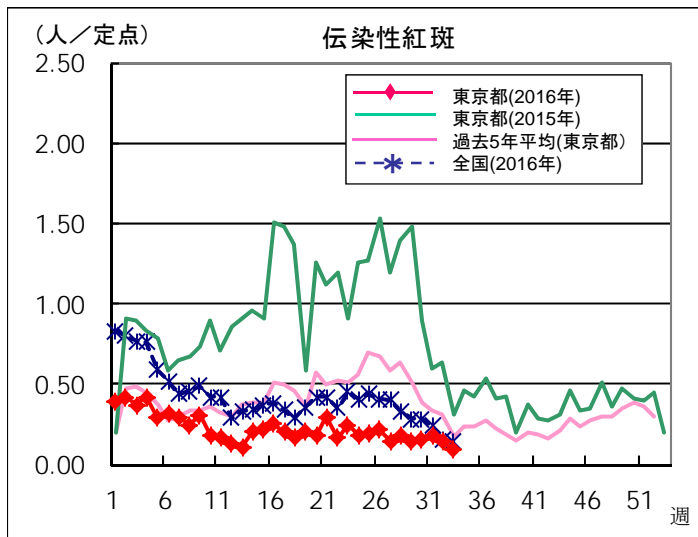
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田				1						1	
中央区	2		1	4		6				5	2
みなと	9	2	2	16	2	4		3		10	8
新宿区	10	3	6	20	3	2		1		11	
文京			3	6				1		4	2
台東		3	3	14		11		7		11	
墨田区	2	2	5	4	2	2		3		4	2
江東区	1		4	22			2	4		2	
品川区		7	2	20	2	2	1	5		10	3
目黒区	8		5	21		13	1	4		10	10
大田区	18	5	11	76	8	5	3	6	1	26	14
世田谷	15	2	20	21	2	5	3	9		22	10
渋谷区				10	1	3		3		3	2
中野区			7	43	4					9	1
杉並	2		2	14	5	3		2		4	
池袋				5							
北区			6	10		4		5		14	
荒川区	1		4	7		2				8	
板橋区			2	9	2	2		2		5	4
練馬区	3	7	26	37	4	5	1	7		18	4
足立	8	5	6	26	2	9	1	3		9	3
葛飾区			6	27	1	6	2	4		6	24
江戸川	3	6	11	35	5	9				15	11
八王子市	1	2	7	88	4	7	1	5		41	36
町田市			14	53	3	4	2	5		19	14
西多摩		1	2	17		1				10	6
南多摩	3		7	33	4	2	2	4		20	8
多摩立川	4	1	11	23	4	4	1	2		5	8
多摩府中	5	2	8	21	5	7		7		23	10
多摩小平	3	5	29	29	1	9	2	7		31	8
島しょ										3	
東京都合計	98	53	210	712	64	127	22	99	1	359	190

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田											
中央区		2									
みなと											
新宿区			2		2			5			
文京											
台東											
墨田区					1		2	1			
江東区		1									
品川区											
目黒区		1									
大田区					3						
世田谷							1				
渋谷区					1			2			
中野区			2		2						
杉並		1			1			3			
池袋											
北区											
荒川区					2						
板橋区		1			1						
練馬区											
足立					3						
葛飾区		2			1			2			
江戸川											
八王子市		1			1			3			
町田市		4									
西多摩					2			2			
南多摩											
多摩立川								1			
多摩府中		1						7	1		
多摩小平					1	1					
島しょ											
東京都合計		14	4		21	1	3	26	1		

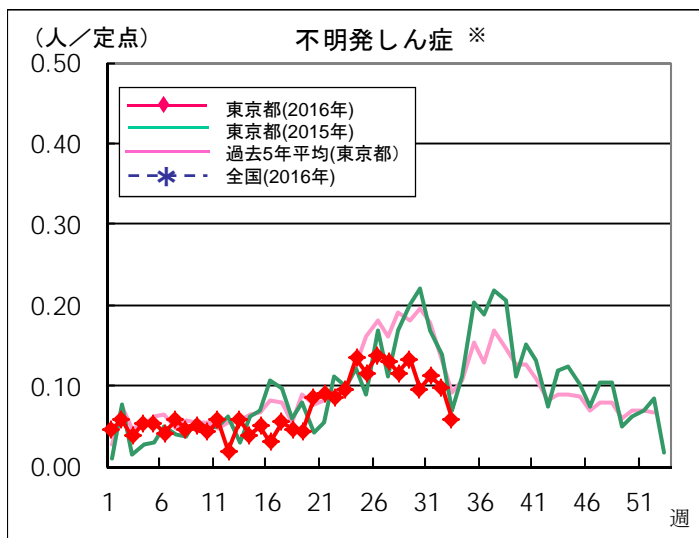
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2016年33週 現在)

◆ 小児科定点



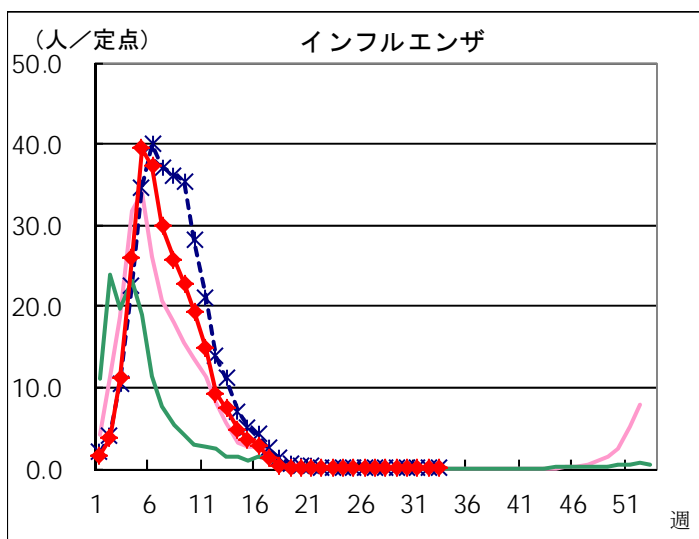


※ 東京都独自対象疾患

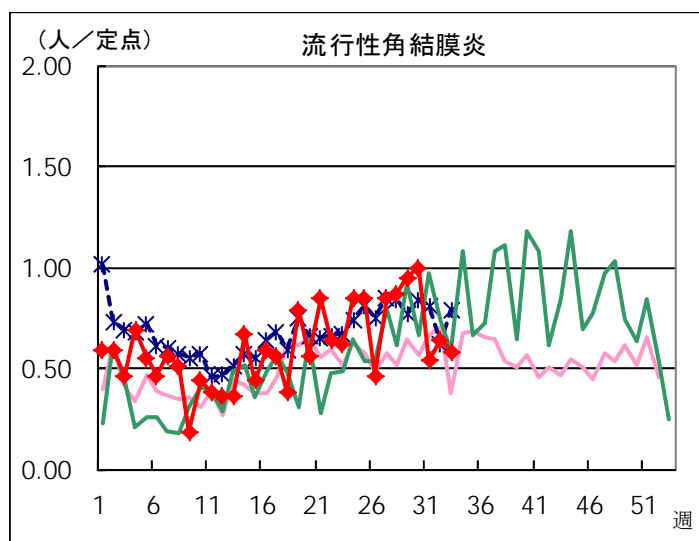
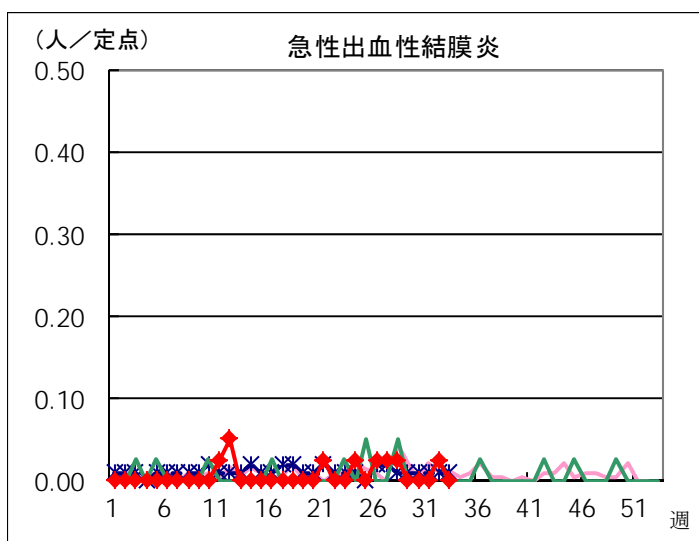


※ 東京都独自対象疾患

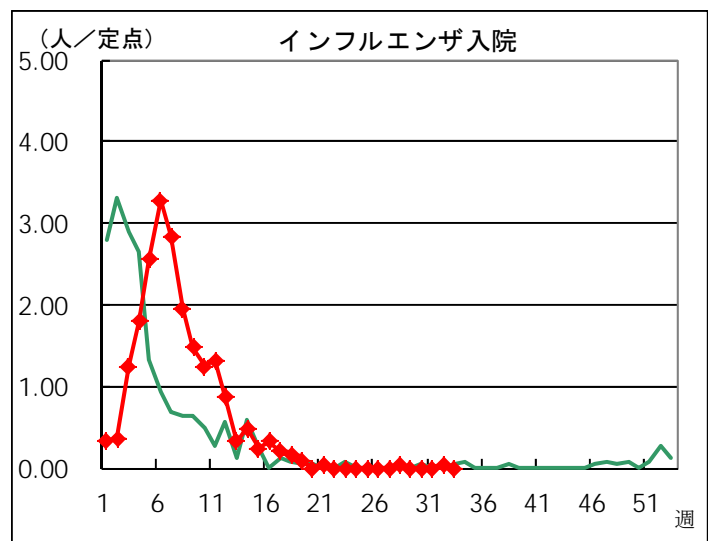
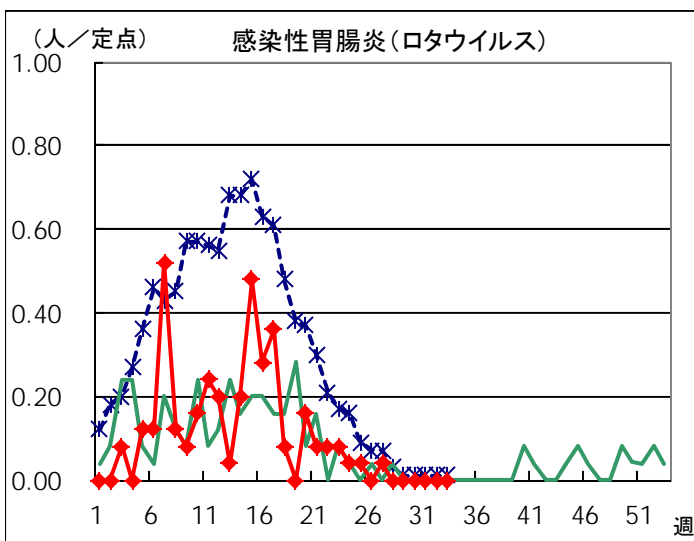
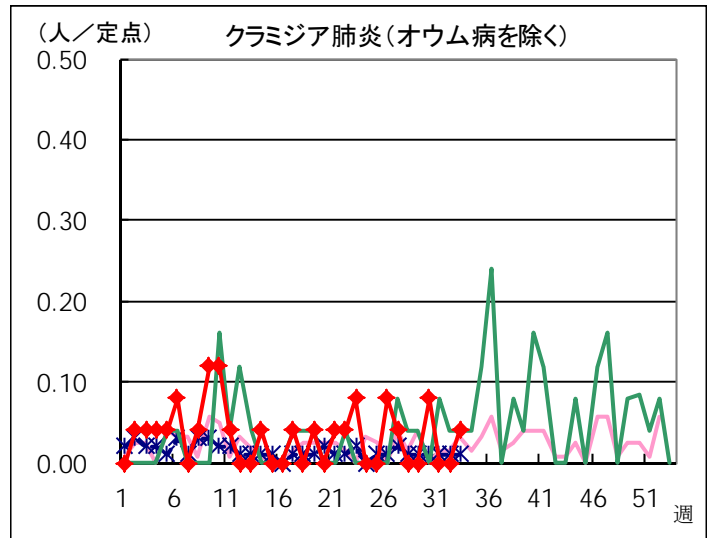
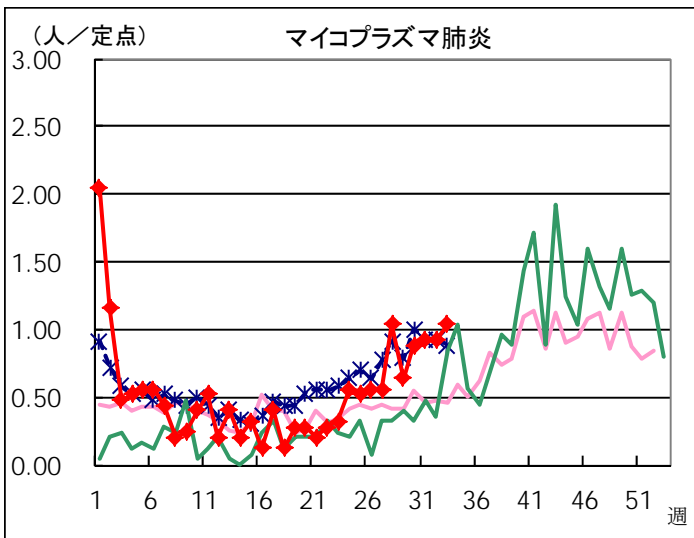
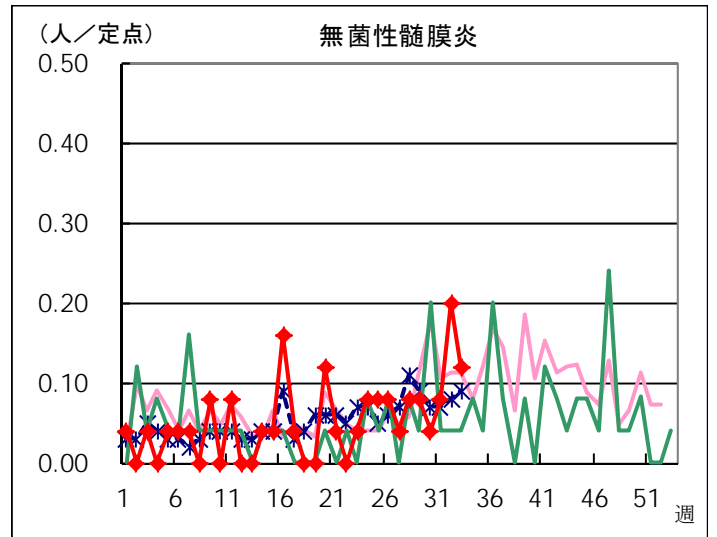
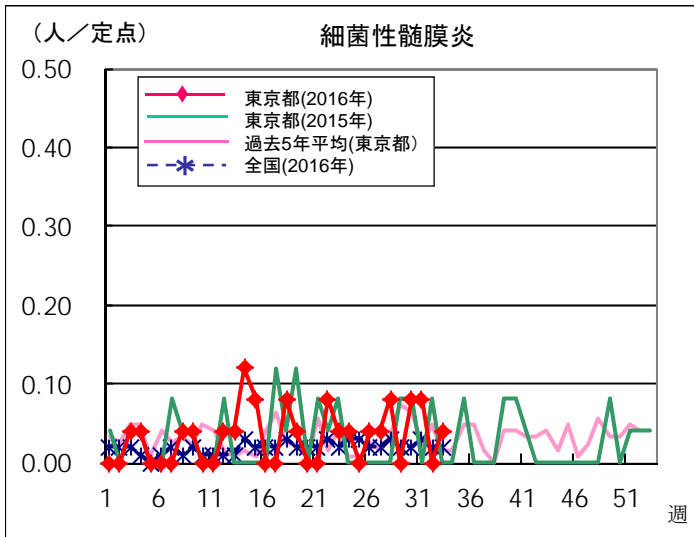
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
7/11	咽頭結膜熱	5M	咽頭拭い液	アデノウイルス1型
7/19	手足口病	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群16型
7/19	流行性耳下腺炎	7	咽頭拭い液	ムンプスウイルス EBウイルス
7/21	ヘルパンギーナ	10M	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群4型
7/21	流行性耳下腺炎	15	咽頭拭い液	ムンプスウイルス
7/22	流行性耳下腺炎	7	咽頭拭い液	ムンプスウイルス
7/23	咽頭結膜熱	1	咽頭拭い液	アデノウイルス5型
7/23	突発性発しん	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
7/25	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
7/26	ヘルパンギーナ	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群4型
7/26	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
7/26	流行性耳下腺炎	7	咽頭拭い液	ムンプスウイルス
7/28	ヘルパンギーナ	10M	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群5型
7/28	無菌性髄膜炎	7D	便	ヒトパレコウイルス3型
7/29	流行性耳下腺炎	7	咽頭拭い液	ムンプスウイルス

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2016年30週				
2015-2016年 シーズン累計*	162		27	180

* 2015-2016年シーズンの開始は第36週(2015年8月31日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2016年							
	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週
アデノウイルス	4	1	5	1	2	2		2
コクサッキーウイルスA群		1	1	1	7	5	4	5
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス							1	
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス						2	1	
ライノウイルス		1		1	1			
ヒトメタニューモウイルス	1							
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス			1					
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	2	2			1		3	2
EBウイルス	2	2		1				1
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス	2	1	5	5		2		5
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風疹ウイルス								
ヒトパルボウイルスB19			2	1	2			
RSウイルス						1	1	
ノロウイルス	2	1						
ロタウイルス	2							
サボウイルス	1							
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型				1				
インフルエンザウイルスB型								
インフルエンザウイルスAH1pdm09								
その他のウイルス						1		1
A群溶血性レンサ球菌T-1型	2		1	2	2			
A群溶血性レンサ球菌T-3型				1				
A群溶血性レンサ球菌T-4型		1				1		
A群溶血性レンサ球菌T-12型			1				1	
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型								
A群溶血性レンサ球菌その他のT型					1			
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ		1			1			
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2016年23週～2016年30週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	4	18	16	12	1	10	5	7	11	21	26	2	17	1	18	1	5	7	22	7	
アデノウイルス		11													2		4				
コクサッキーウイルスA群						9				15											
コクサッキーウイルスB群																					
エコーウイルス																				1	
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス															3						
ライノウイルス						1									1				1		
ヒトメタニューモウイルス	1																				
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス					1																
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								5					5								
EBウイルス											6										
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス											20										
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)																					
風しんウイルス																					
ヒトパルボウイルスB19							4									1					
RSウイルス	2																				
ノロウイルス				3																	
ロタウイルス				2																	
サボウイルス				1																	
インフルエンザウイルスAH1亜型																					
インフルエンザウイルスAH3亜型															1						
インフルエンザウイルスB型																					
インフルエンザウイルスAH1pdm09																					
その他のウイルス																					2
A群溶血性レンサ球菌T-1型			7																		
A群溶血性レンサ球菌T-3型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T-4型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T-12型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型																					
A群溶血性レンサ球菌その他のT型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																					
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																					2
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					